

商品番号 NO.2079

**取付簡単**

取付方法

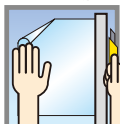
1 貼り付け面をキレイにします。



2 フィルムを貼り付け面に貼ります。



3 フィルムが出る場合カッターで切ります。



詳しい貼り方は、クラ面(内側)をご覧下さい。

名称	ガラス飛散防止フィルム
材質	ポリカーボネイトフィルム
材質	ベアラー(裏面)

N-2079



日本製

株式会社 ヨムラテック  
〒544-0172 大阪府東淀川区東淀川4丁目4番地30号  
TEL: 06(7)979-7200 FAX: 06(7)979-2111  
URL: http://www.nomura-tec.co.jp

**地震**

**危ない**

貼らないと危険

貼るだけでガラス飛散防止!



EMERGENCY SUPPLIES

**防止フィルム**

**ガラス飛散**

透明ガラス専用  
ゴムのヘラ付

32×185cm 無色透明 1枚入

貼って安心

地震によるガラスの飛散は非常に危険です。フィルムを貼り危険を防止しましょう。

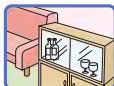
使用場所



食器棚に!



室内ドアのガラス面に!



サイドボードに!

※飛散防止ガラス、熱線反射ガラス、輸入ガラス、二重ガラス、有機ガラス、など特殊なガラスは貼れる恐れがあるため使用しないでください。※凹凸のある厚板ガラスやスリガラスなどには貼ることができません。

用意するもの

セロハンテープ



保護フィルムをはがす時に使用。

霧吹き



水溶液の吹きつけに使用。

中性洗剤



(台所用洗剤) 水と混ぜて水溶液を作ります。

ペーパータオル



付属のヘラに付いている油を拭き上げて使用。

透明ガラス専用

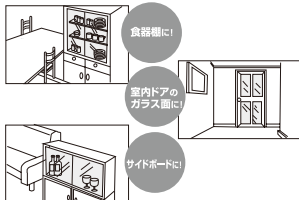
ガラス飛散防止フィルム

きれいに貼るために下記項目を必ず、良く読んでください。

特長

- ガラスが割れた際に破片が飛び散るのを防ぎ、危険防止に役立ちます。
- フィルムが透明なので視界を妨げません。

用途



●用意するもの●

- 霧吹き ●定規 ●カッター・ナイフ ●台所用(中性)洗剤
- 吉藍紙(水ダレによる床面保護のため)
- セロテープ(保護フィルムをはがす時に使用)

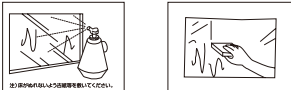
フィルムを貼ります。

- 家具からガラスを外して下さい。
- ※ガラスが外せない家具につきましては、ガラスのサイズに合わせてフィルムをカットしていただき貼り付けます。
- ※フィルムは、基本的には、外側のガラス面に貼り付けますが、家具によって内側にしか貼れない場合は、内側にお貼り下さい。

1.水溶液をつくります。

家庭用霧吹きに水を入れ、台所用(中性)洗剤を1~2滴おとし、よく混ぜます。  
※ガラス清掃・貼りつけ時に使用します。(水:洗剤200ccに対して)  
※洗剤を入れない様、気を付けて下さい。

2.ガラス面を清掃します。

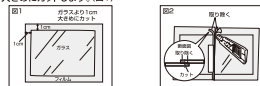


貼りつけるガラスに水溶液をたれた位たっぷりと吹きかける。

付属のヘラを用いて、油、ホコリ、異物を石けんと共に拭き取り、取り除きます。  
空気が入る原因になりますので、十分に掃除してください。  
※有などで強くこすると膜が剥けて付着しやすいため、必ず付属のヘラをお使いください。

3.フィルムをカットします。

- 保護シートをはがす前に、本体フィルムをガラス面よりタテ・ヨコ1cm位大きめにカットします。(図1)



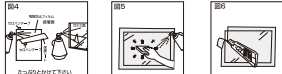
注:家具よりガラスが外せない場合は、ガラス面の寸法を測って頂き、サイズに合わせてフィルムをカットしてご使用下さい。

4.保護シートをはがし、水溶液を吹き付けます。

- フィルムの裏表両面にセロハンテープを互いにくっつかないように貼り合わせ、そのままセロハンテープを外側に向かって引っ張って頂きますと飛散防止フィルムと保護シートが分かれやすくなります。粘着面のある方が、飛散防止フィルムになります。(図3)

5.ガラス面へ貼りつけます。

- フィルム粘着面をガラスに貼りつけます。



まずガラス面とフィルムの粘着面にたっぷり水溶液を吹き付けてからガラス面に貼り付け、粘着面をガラス面に押しつけてください。(図4)その後フィルムの表面が干すまで、フィルムとガラスの間の水分・空気を付属のヘラで放射状に押し出します。(図5)

6.仕上げます。

- もう一度フィルムの上から水溶液をかけた後(濡りやすくし、キズをつくらなくするため)空気を付属のヘラで放射線状にしごかします。
- 乾いた後、徐々に水分が飛散し、しつこく乾かします。(目安として前日)どうしても乾かない場合は、針で空気を入れてください。

ご注意

- 熱線反射ガラス、熱線透過ガラス、輸入ガラス、二重ガラス、有機ガラスなど特殊なガラスは割れる恐れがあるため使用しないでください。
- 粘着面に手を触れたり、乾かしをする、粘着力が弱くなります。
- 凹凸のある厚板ガラスやスリガラスなどには貼ることができません。
- フィルムが完全に乾燥するまで十分なガラス飛散防止効果は、得られません。
- 乾燥するまではスレ・シワになりやすいため、表面を拭いたり、こすったりしないでください。
- 表面にくもり・ぬめりが残る場合がありますが、よく乾燥したのちに拭き取ればきれいになります。
- 室温10℃以上の時に作業してください。
- 残ったフィルムは、用途以外での使用はしないでください。
- 残ったフィルムは、幼児の手が届かず、直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 正しく貼れないと十分な効果は得られません。
- 本製品は災害事故等を防止するものではありません。
- 万一発生した災害、事故などによる損害については責任を負いかねますので、ご了承下さい。